

綾瀬市神崎遺跡の調査と史跡整備 —集団移住がわかる弥生時代後期の環濠集落—

綾瀬市教育委員会 生涯学習課
市史文化財担当 井上洋一

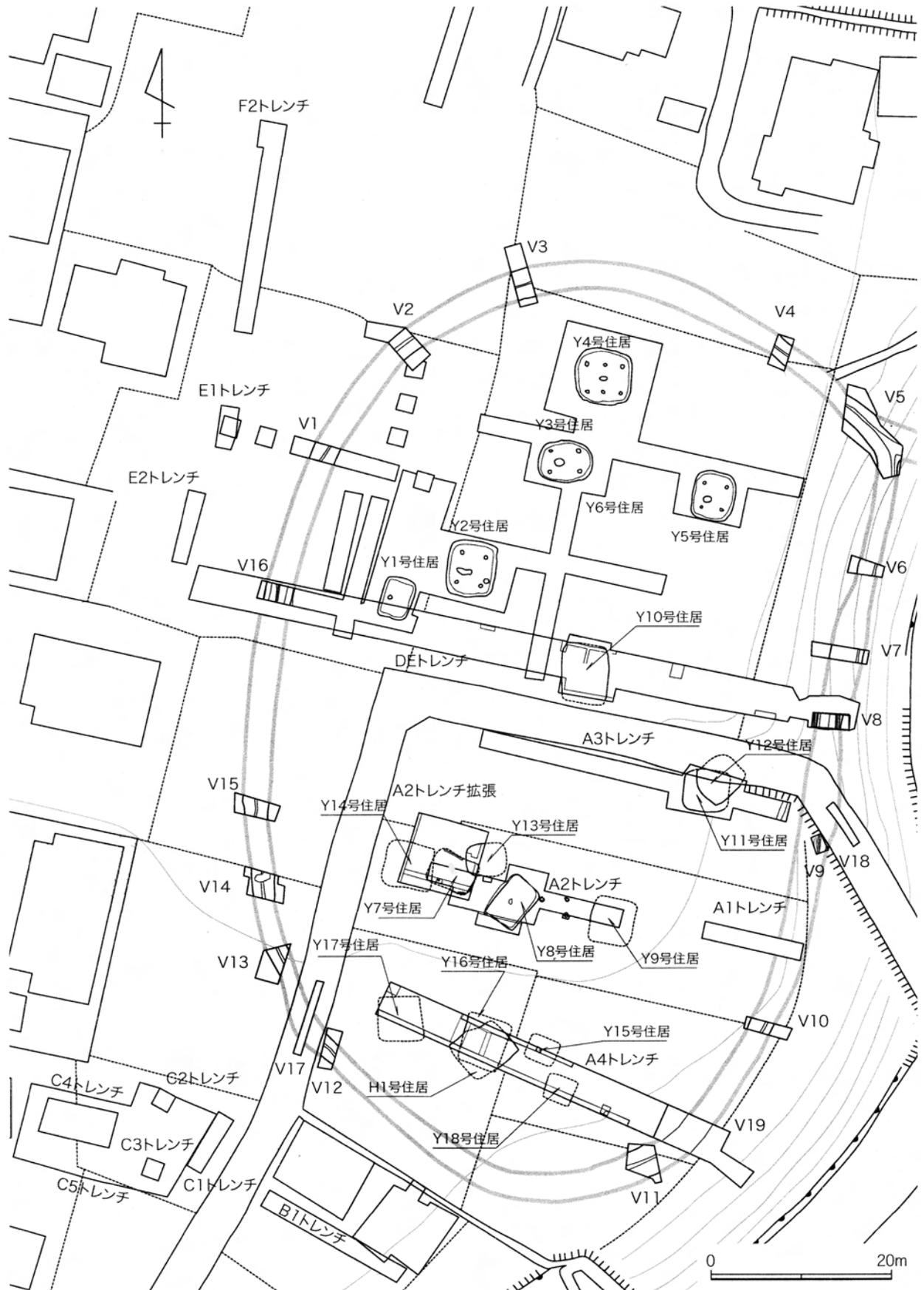
- 1 はじめに
- 2 平成元年の発掘調査 —市史編集にむけて—
 - ・出土土器の95%以上が東海系土器⇒200km以上の集団移住
 - ・住居跡の重複なし⇒集落の継続期間が短い
- 3 平成22年の発掘調査 —国史跡指定にむけて—
 - ・環濠内南部の調査⇒集落全体が東海色
 - ・墓域は未検出⇒集落の継続期間が短いため？
- 4 平成25年の発掘調査 —公園整備にむけて—
 - ・環濠内中央部の調査⇒中央部は広場ではなく居住域
 - ・重複する住居跡の発見⇒集落の継続期間が短い？
- 5 現在までの史跡整備
- 6 おわりに

参考文献

- 綾瀬市 1996 『綾瀬市史9 別編 考古』 綾瀬市
綾瀬市 2002 『綾瀬市史5 通史編 原始・古代』 綾瀬市
綾瀬市教育委員会 2010 『神崎遺跡範囲確認調査報告書』綾瀬市埋蔵文化財調査報告書7 綾瀬市教育委員会
綾瀬市教育委員会 2016 『神崎遺跡範囲確認調査報告書』綾瀬市埋蔵文化財調査報告書11 綾瀬市教育委員会
神崎遺跡発掘調査団 1992 『神崎遺跡発掘調査報告書』綾瀬市埋蔵文化財調査報告書2 綾瀬市教育委員会



位置図



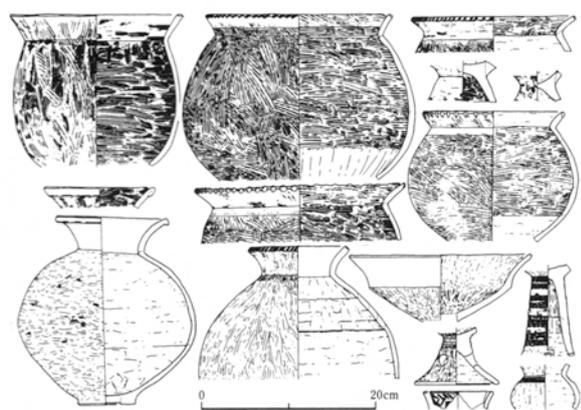
遺構全体図 (1/600)



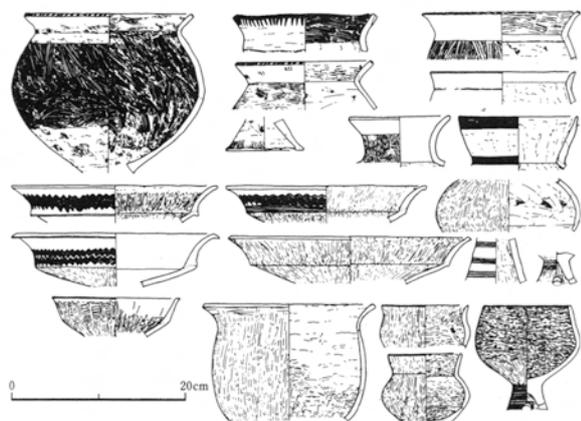
遺跡全景（平成元年撮影）



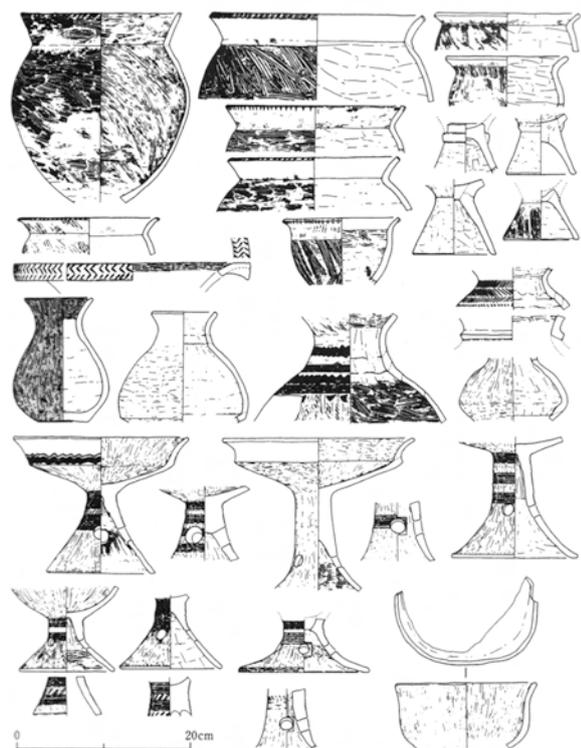
平成元年調査 出土土器



1号住



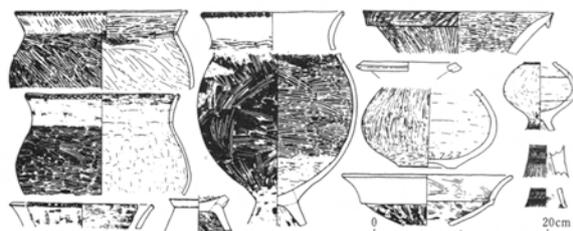
2号住



環濠



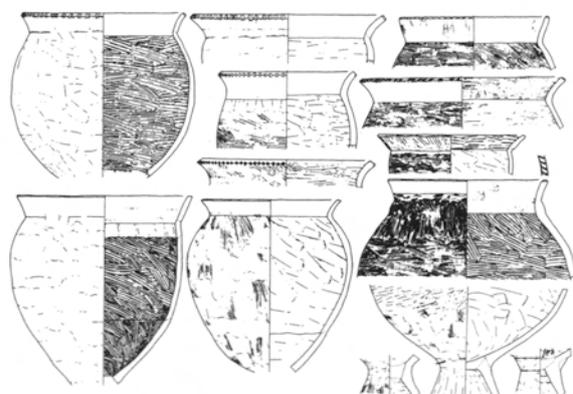
3号住



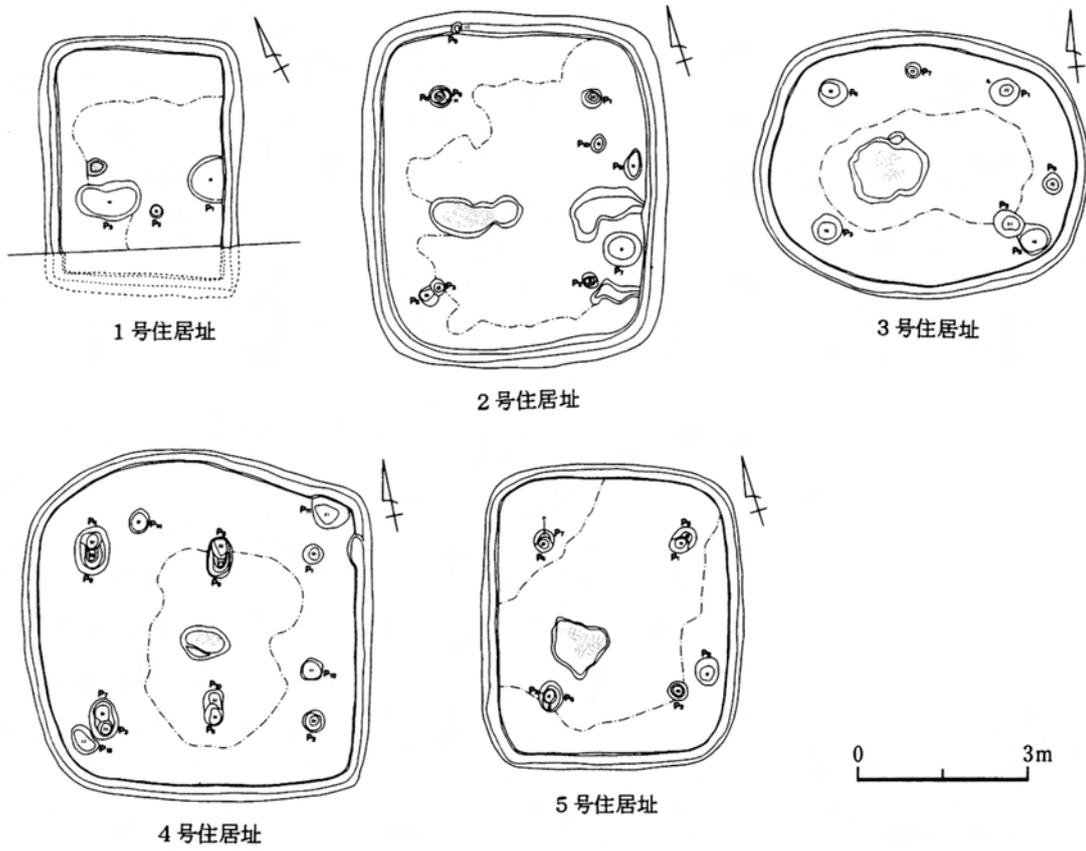
4号住



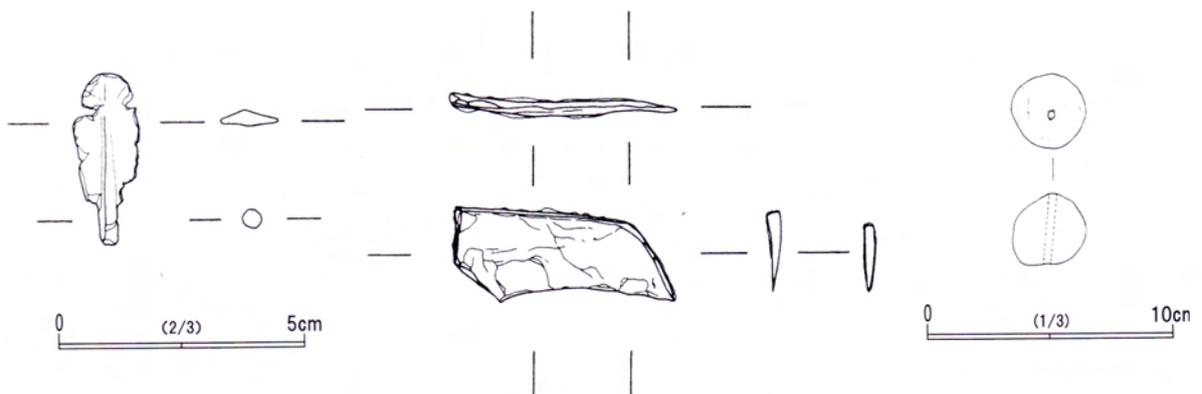
5号住



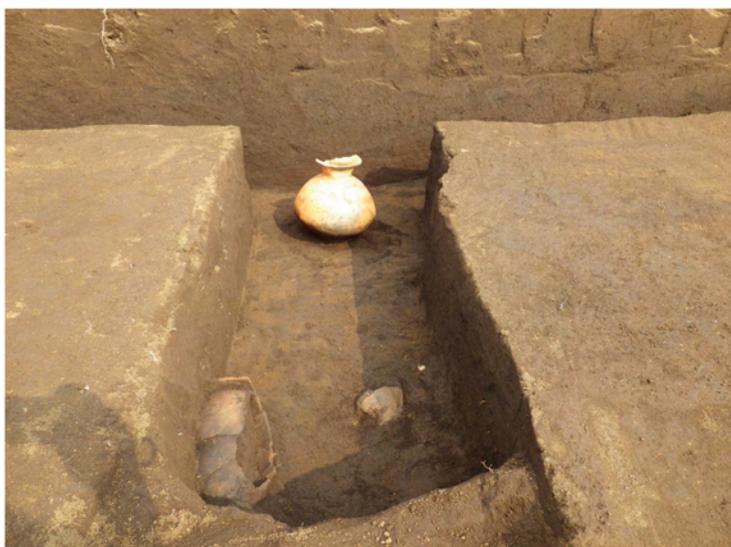
土器捨て場



平成元年調査 住居跡平面形

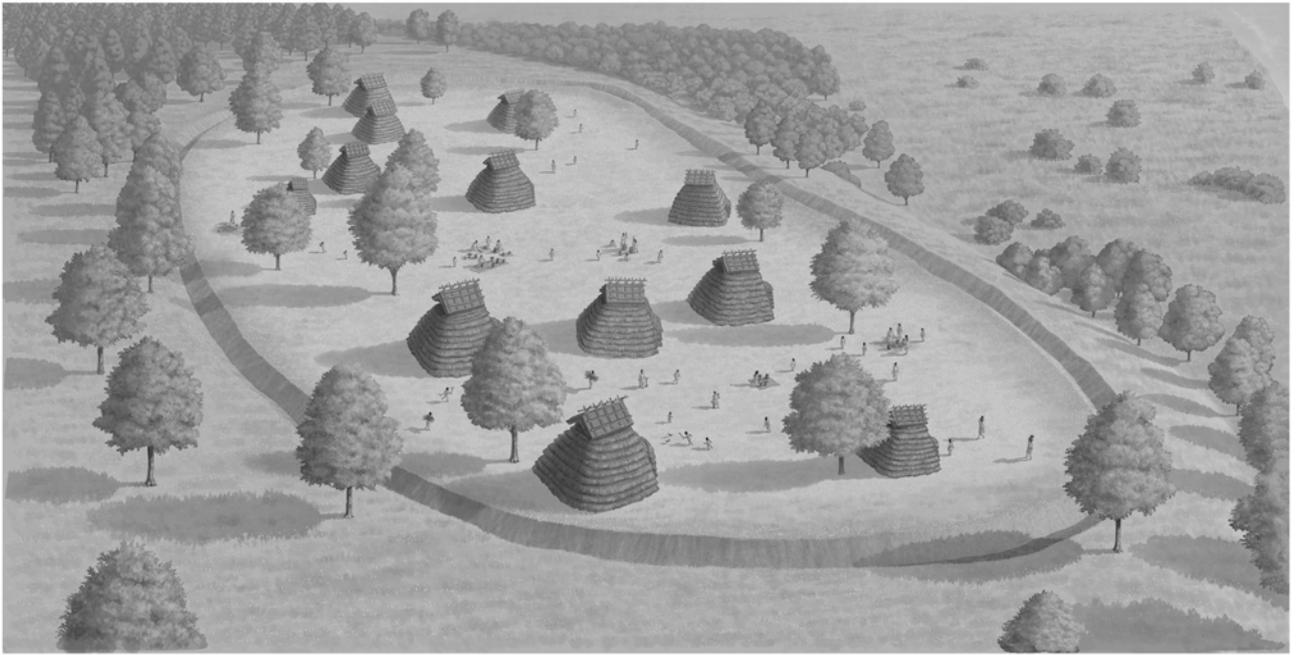


平成元年調査 銅鏃・鉄鎌・球形土製品

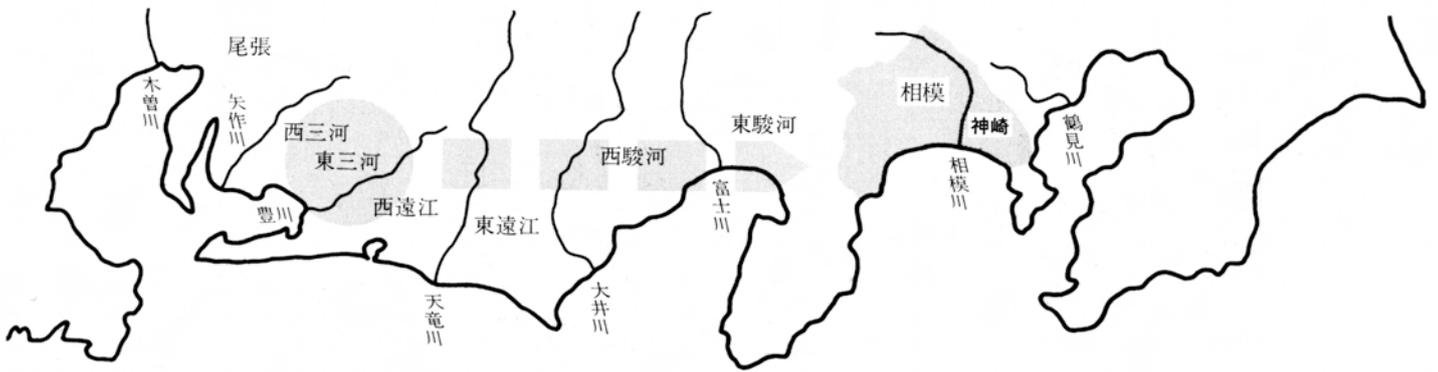


13号住居跡出土土器

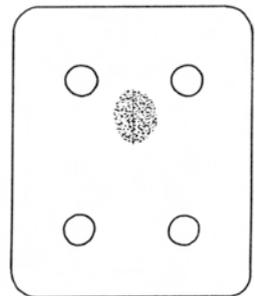
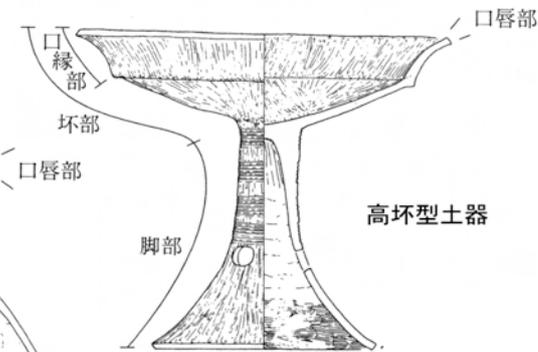
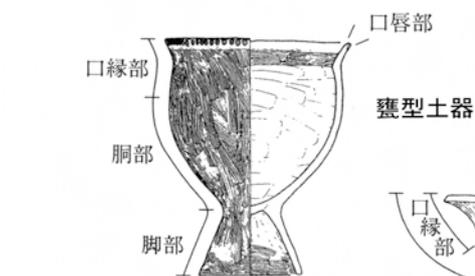
用語図説



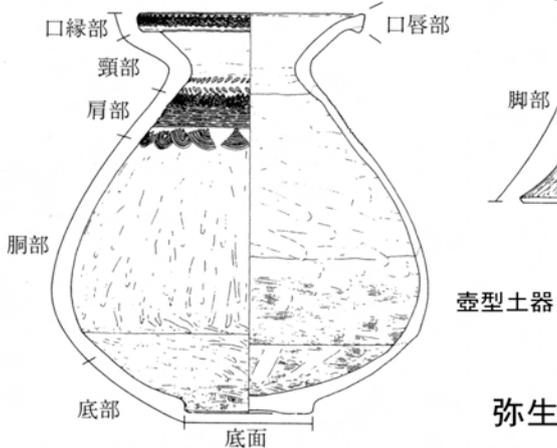
環濠集落復元想像図



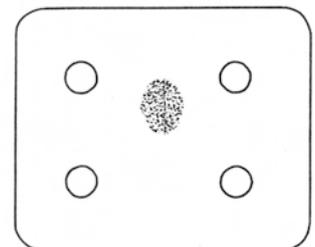
神崎遺跡の故地



縦長タイプ



弥生土器



横長タイプ

住居跡の平面形